

10

昭和42年10月号

県政の夕

発行／和歌山県知事室広報課
和歌山市小松原通り1丁目1番地

明るい暮らししづくりのために…

大橋知事・新機構打ち出す
 「県民の立場にたつた県政」に意欲を燃や
 す大橋知事は、このほど機関改革を行な
 い、県民の皆さん暮らしと直接関係のある
 部門を強化、つぎの各室を設けました。

▲県民生活室▽体力づくり、郷土美化、
 交通安全運動など県民の皆さんに積極的に
 参加していただき
 県民運動の推進と
 台所を預かる主婦の立場にたつた物
 値問題などの消費者行政に真剣に取り組みます。

▲公害対策室▽公害防止条例の施行にとも
 もない公害行政機構を一本化。きれいな空
 気や水を守り、騒音監視を行ないます。

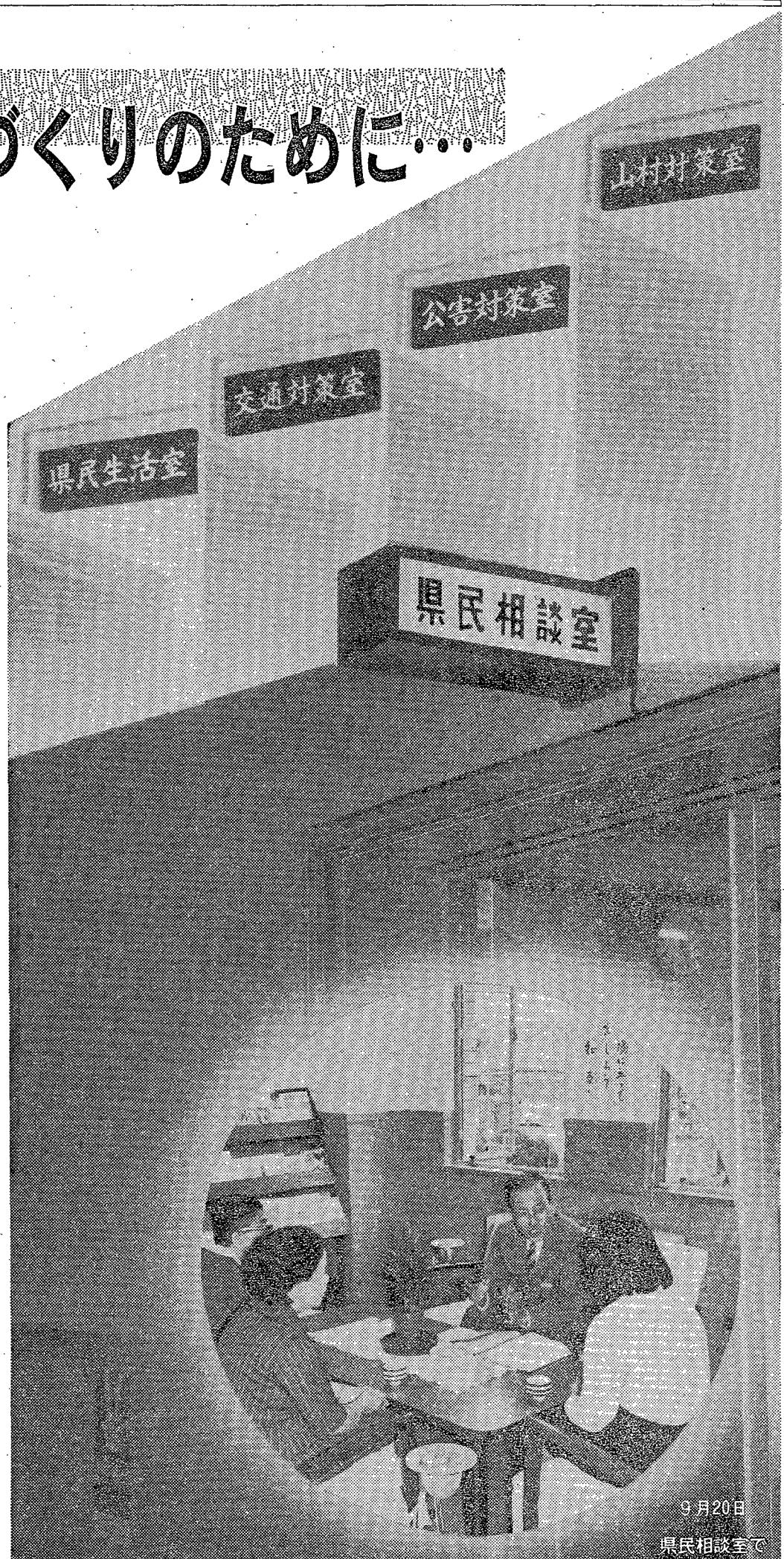
▲交通対策室▽交通戦争に対処して、交通安全行政の窓口を一本にしました。交通安全施設の整備、救急医療機関の整備など

県民と直結した県政へ

交通安全対策の企画、指導、施設の整備を総合的に推し進めます。
 ▲内川浄化対策室▽水のきれいな、美しい郷土をつくるため和歌山市の「黒い水」を一掃しようという目的でつくられました。四十五年の万国博、四十六年の和歌山国体までに、和歌山市内の内川をもと通りの美しい川にしようと大橋知事も意欲を燃やしています。

このほか、地場産業振興のため織維皮革課、市町村水道事業の推進と維持管理に万全を期すため環境衛生課に水道係、県下全体の水問題を調整するため調整課に水政課、市町村水道事業の推進と維持管理に万全を期すため環境衛生課に水道係、県下全体の水問題を調整するため調整課に水政

係、県民の血液はようと業務課に血液係が新設されました。
 いずれも「恵まれない人たちに光を」「明るい暮らしづくりを」という大橋知事の公約をもとに、県民の皆さんの日常生活に最も身近かな問題を解決していきたいという願いから生まれたもので、これらの窓口を通して、どしどし県政に参加していただきたいと念じております。



●紀州アルバム 《ここにも県政が》

—保母—
10月7日・14日(土)
毎日テレビ 11:35~11:50
四国テレビ 17:30~17:45

《知事と語る》
—農家の主婦—
10月21日・28日(土)
毎日テレビ 11:35~11:50
四国テレビ 17:30~17:45

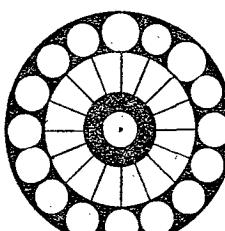
●県政の夕べ 《明るい県民生活を願って》

—座談会—
10月16日(月)
和歌山放送 20:40~21:00

《広報アワー》
《県政の動きや、お知らせなど》
日曜日のぞく毎日
和歌山放送 12:30~12:35

広報
カ
イ
ド

あなたの車はもうお済みになりましたか!!



切替促進期間

農業協同組合・共済連

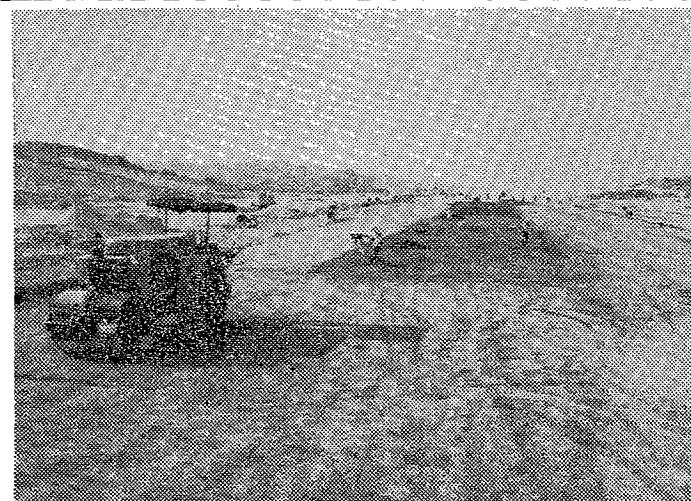
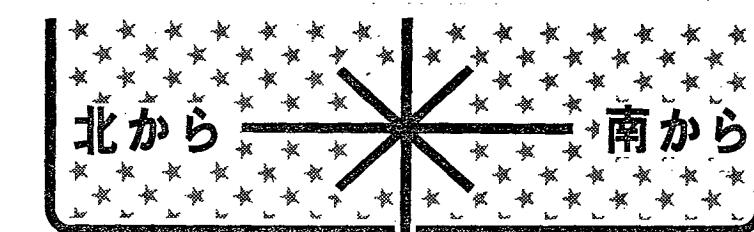


みなさんのおもやか
ふさわしい話題だとい
うものがありまして、ど
うぞお読みください。

清水町が五年計画

清水町下湯川地区は、昨年十月から着手していた稲作の本年度分工事がこのほど完成しました。約八十戸を山林で占められていて、鶴居、遠井地区的桑園經營による養蚕、上湯川の漁業組合による養魚、玉川の漁業組合による養魚等が、これまでお知らせください。

投稿お願い



来年四月に一番機

南紀空港の建設急ピッチ

西牟婁

四十一年七月に着工された南紀空港は、来年三月完成をめざして現在急ピッチで工事が進められています。

「こんなところに空港ができるのだろうか」と思っていた山上に、うっただらかな平地ができるばかり、連日、超大型のブルドーザーがうなぎをあげています。

三十八万平方㍍の建設用地もほぼ整地され、現在、滑走路のアスファルト工事が進行中。誘導路も近く舗装工事によりかかり、あとは一ヶ月間です。



大分へ一往復の定期航路が開設される予定です。

同空港事務所では、年間利用者数を十八万人と推定しています。

南紀空港

が、南紀空港

の完成は国道

四十号線の

全線改修舗

美、紅葉木線

の複線化と

美しいや

和歌山県の觀

光ルートを大

きく変えよう

むべ、いまや

和歌山県の觀

